インドネシア社会の課題に潜む
ビジネスチャンス

インドネシア進出サポート
小野耕司

自己紹介

1975/4～1981/6　ヤマハ㈱入社　インドネシア工場立上支援分野配属

1981/6～1987/3　インドネシア工場生産課長　電子鍵盤楽器の組立生産

1987/3～1995/7　インドネシア工場長　電子楽器、ピアノ、ギターの輸出拠点化

1995/7～2005/3　帰国、インドネシアを普及品の生産拠点化するプロジェクト

2005/3～現在　ヤマハ退職、インドネシア進出サポートコンサルタントとして独立

インドネシア語翻訳・通訳

静岡大学客員教授、専修大学客員講師

独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)専門家

独立行政法人 中小企業基盤整備機構アドバイザー

一般社団法人海外事業支援センター(OBAC)アドバイザー

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）講師

一般社団法人日本インドネシアビジネス協会(ABJI)理事

などを経歴し、これまでのインドネシア進出支援企業数は約100社

インドネシアとの関わりも50年になりました

セミナー要旨

- インドネシアは2045年までには、世界第5位の経済大国を目指すと公言しています。

- 確かに1990年以降の経済成長率は、アジア金融危機とコロナ禍の一時期を除き、5%強を維持していますので、決して不可能な目標とは言えません。

- しかし、300年前後にわたり続いたオランダの植民地支配と、それから独立して主権国家となって僅か80年と言う歴史は、インドネシア社会の中に多くの課題を生み出しています。

- 一方で世界に名立たる、数千年以上にわたる主権国家としての歴史と文化を持ち、近現代では先進国としての実力を持つ日本は、インドネシア社会に潜む課題をビジネスチャンスとして活かし、共に発展出来るものと確信しています。

- このセミナーではこれらの課題に対して、どのようなビジネスチャンスがあるのかを探ってみます。

目次

1. 農業機械共同利用
2. 家庭ゴミ処理
3. 公共交通乗換案内
4. 大型店舗内案内アプリ
5. 荷物宅配サービス
6. ビジネスホテル用寝間着
7. 算数に日本語九九の採用
8. 選挙投票および集計機械
9. トラック点検修理専門工場
10. 危険予知活動教材

参考資料 おもしろアイデアインドネシアのブルーオーシャン市場
インドネシアならではのビジネスチャンス
日イの補完関係からビジネスチャンスを考える

1. 農業機械共同利用

- ジャワ島内の田園地帯を列車の車窓から眺めていると、農業機械を使っている様子がほとんど見られません。
- 日本の農機具メーカーも進出しているので、全く無い訳ではないと思いませんが、少なくとも日本の田園地帯に比べると非常に少ないことが分ります。
- 日本と同様に小規模農家が大部分であるため、機械化のための資金確保と利用効率の問題が、機械化の障害になっていることは理解出来ます。
- しかし、日本と異なる点として、一年を通して稲作が可能であることは、利用効率を解決する上で大きなメリットであると思われます。
- 年間を通して、多くの農家に機械を貸出する仕組みを作り、米の生産量を上げることは、インドネシア政府の政策と間違いなく合致することです。

2. 家庭ゴミ処理

- ジャカルタ特別区から排出される、毎日7000トンの家庭ゴミを集積している、隣県のバンタルグバンを筆頭に、インドネシアの各地の都市はゴミ処理問題に悩まされています。

- 日本やヨーロッパの先進国がゴミ処理問題を解決出来ているのは、処理技術だけの問題ではなく、処理コストの約半分を負担する、政府の補助金がビジネスとして成り立つ条件を満たしていることです。

- インドネシアでは中央政府も地方政府もこの補助金を出さないため、日本などからどんなに優れた技術を導入しても、ビジネスとして成り立たないのです。

- 州または市単位で対処するためには大規模な投資と補助金が前提となり、実現が難しくなります。

- しかし、規模の小さい郡または区を説得して、試験的にゴミ処理ビジネスの成功例を作ることで、州政府や市政府も重い腰を上げるのではないかと期待されます。

3. 公共交通乗換案内

- ジャカルタを中心とする都市圏では、従来の電車やバスに加えて、地下鉄、軽軌道電車、専用レーンバス、空港電車、そして高速鉄道が運行を始めています。
- それぞれの路線マップや時刻表はウェッブ上で確認出来るのですが、これらを乗り継いで目的地まで効率良く移動するための情報を探しても見つかません。
- 日本では全国津々浦々、何処へ行くにも乗換案内情報を利用することが出来て、極めて便利です。
- それらの情報のほとんどは無料で、しかも常に最新のものに更新されていることには、驚きを隠し切れません。
- インドネシアで乗換案内が必要なのは、今のところはジャカルタ周辺に限られますが、これから全土に広がるのは明らかです。
- 今のうちに着手しておくことで、プイオニアプロフィットを享受出来ると思います。

4. 大型店舗内案内アプリ

- ジャカルタを始めとする大都市部とその周辺には、巨大なショッピングモールが出現しています。

- 時々それらを覗いて見るのですが、床面積が広過ぎるのと、フロアの数も多いことから、案内表示だけではどこに何があるのか、どうやって辿り着けるのか、ほとほと困ってしまいます。

- スマホのグーグルマップを使い、欲しい商品やサービスを提供している店舗まで誘導してくれるアプリがあれば良いのに、と考えるのは私だけではないと思います。

- お客だけではなく、店舗側にも大きなメリットがあるので、間違いなくビジネスになると思います。

5. 荷物宅配サービス

- 元々はバス停などに屯して客待ちをしていたバイクタクシー（Ojek）と契約し、独自に開発したスマホのアプリを活用して、オンラインバイクタクシー（GoJek）として大成功したビジネスモデルは大変有名な話です。

- GoJekは今ではバイクタクシーとしてだけでなく、飲食品の代行購買と宅配サービスの分野でも、生活の必需品となりつつあります。

- しかし、日本の宅配サービスのように、ジャカルタからスラバヤの宛先に届けてもらうようなサービスは期待出来ません。

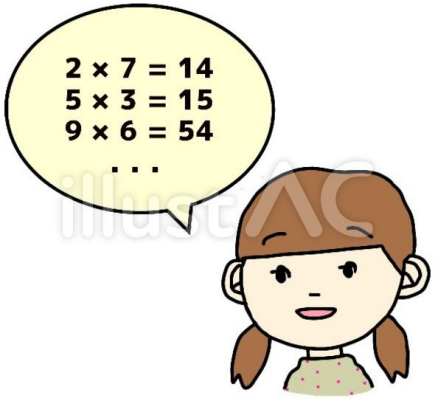
- 日本の宅配サービス会社が事業展開を試みないのには、何か理由があるのでしょうが、インドネシアのオンラインバイクタクシーと日本の宅配サービスのビジネスモデルを融合させると、日イ協力の面白いサービスが実現すると思います。

6. ビジネスホテル用寝間着

- 日本ではほとんどのビジネスホテルにおいて、簡素な寝巻が用意されています。
- インドネシアで日本のビジネスホテル相当の三ツ星ホテルに泊まると、普通は何も用意されていません。
- 四つ星ホテルになってようやくバスローブが用意されるようになります。
- 豪華なタオル地のバスローブは要らないのですが、簡単な寝巻が欲しいと、いつも思っています。
- インドネシアでは無断で持ち帰る客がいると心配になるかもしれませんが、チェックインする際に渡し、チェックアウトする際に返却してもらえば紛失の心配は不要です。
- 日本文化を感じられる浴衣や甚平などのデザインを活かした寝巻は、必ずや好評を得ると思います。

7. 算数に日本語九九の採用

- 日本人は小学生の時に九九を習い、そのお陰で計算が早く正確に出来るようになります。
- インドネシアには九九に相当するものが無いため、日本人に比べると計算は遅く、間違いも多くあります。
- インドネシア語で九九を唱えるのは表現が長くなり、感覚的に覚えるには無理があります。
- いっそのこと日本語でそのまま、音と絵で覚えさせた方が良いのではないかと思います。
- そのようなアプリがあれば便利でしょう。



8. 選挙投票および集計機械

- インドネシアでは5年毎に大統領、国会議員、州議会議員、県議会議員、市議会議員、州知事、県知事、市長の直接選挙が、2億人に近い有権者により行われます。

- 各選挙は新聞紙大の紙に印刷された候補者の写真、あるいは政党のシンボルに釘で孔を開けて投票します。

- 単純に計算すると、一人の有権者に対して7種類の投票用紙が投票所で配布されることになります。

- これらを葉書大に折り、全国各地の投票所に配送し、投票結果を集計して最終的に首都にる選挙管理委員会まで報告するのに、膨大な労力と時間と費用が発生し、集計作業による過労のために、死亡者まで出ています。

- 他方ではスマホでのオンライン取引や決済が、世界のトップレベルにあるのに、選挙だけは完全なアナログであることが不思議で仕方ありません。

- 不正選挙防止が目的と思われますが、日本こそ、あるいは日本も含めて選挙システムのオンライン化を追求すべきと思います。

9. トラック点検修理専門工場

- インドネシア国内のニュースの多くは、交通事故、火事、汚職事件、殺人事件で占められます。
- 交通事故の中でも悲惨な大事故の多くは、大型トラックが原因によるものです。
- ブレーキが利かなくなった、積荷の超過で制御不能になった、等々です。
- 事故にはならないものの、積荷が重すぎて高速道路をノロノロと走ったり、パンクして横倒しになり道路を塞いだりと、大型トラックは長時間の大渋滞を引き起こす諸悪の根源になっています。
- インドネシア政府は高速道路網の整備と併せて、この問題にも真剣に取り組まないといけないと思います。
- そのためには、大型トラックを対象にした、出来れば政府の補助金制度も設けられた、点検修理の専用工場の開設が必要です。

10.危険予知活動教材

- 日本人は自然環境などの影響で、災害や危険に事前に備えると言う、習慣が身に付いています。
- そのことから、職場において危険予知活動を行う場合も、目的を理解して議論することに何の抵抗もありません。
- インドネシアにおいて危険予知活動を定着させるには、かなりの努力と工夫が必要となります。
- 理由としては、南国の気候風土や、唯一絶対の神に全てを委ねるなどの、文化的な背景があると思われます。
- 工場などの職場で危険予知活動を浸透させるには、数多くの事例が参照出来る教材が必要です。
- 職場に限らず、学校においても教育の一環に組み込むことが出来れば、多くの社会問題解決に繋がると期待されます。
- 参考資料　**インドネシア工場での危険予知活動導入の秘訣**

最新のインドネシア情報はこちらから

インドネシア進出サポート公式サイト

インドネシア進出準備から撤退までの要点を簡潔にまとめたサイトです
（Googleトップランキング）

インドネシア最新情報ブログ

あらゆる分野での情報を毎日、どんなメディアよりも早く紹介しています

インドネシア進出サポートウエブセミナー

公式サイトに掲載されたセミナースライドサンプルの中から、ダウンロード件数の多いもの順に音声解説付きのスライドをアップロードしています

愛する二つの祖国である、日本とインドネシアの発展のため、
全てのコンテンツは無料で公開されています

ご清聴ありがとうございました
ここからは質疑応答です